



果樹特報

No.13

平成 29 年 9 月 29 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

9 月上旬から中生種等で炭そ病が発生中です。しばらく病害感染拡大が心配されます。つきましては、収穫前の病害感染予防のため今回の特別散布を実施してください。

りんご

10 月上旬の特別散布（すす病・炭そ病予防）

◆ 散布日：10 月 日

◆ 散布量： リットル

散布時期： 10 月 5 日～10 日（前回散布から 15 日後）＊注意事項①参照

散布薬剤： 水 100 リットル
展着剤 10 ml
ストライド顆粒水和剤 66 g（前日、3 回）＊注意事項②参照

対象病害虫：すす点病・すす斑病・炭そ病・斑点落葉病

散布量：10 アール当たり 600 リットル

注意事項 ＊必ずお読みください。

- ① 対象品種：シナノゴールド・シナノスイート・王林・ふじ等
- ② ストライド顆粒水和剤に代えて、フルーツセイバー2,000 倍（前日、3 回）でもよい。ただし、炭そ病には登録（効果）がないので注意する。
- ③ 晩生種の最終防除です。薬液が樹内部まで到達するように散布前に徒長枝切りや支柱立て等を適宜実施してください。
- ④ 不明な点は、営農センター担当までお問い合わせください。（TEL23-3933）

◆ シナノスイートの管理について

芯カビ果の発生が目立っています。現状で地色が抜け、ワックス等が乗っている果実は芯カビ果の可能性が高いです。早めに除去してください。

1. 芯かび果の特徴 ⇒ ①異常に地色の抜けた果実の除去、②早期着色果実の除去。
2. 収穫予想：南部地帯 10 月 10 日頃～、北部地帯 10 月 15 日頃～
3. 注意点：9 月末現在、全体に着色が遅れています。ただし、果肉軟化は進んでいます。一定の着色が乗った時点で収穫を開始してください。

◆ シナノゴールドの管理について

9 月上旬から炭そ病被害果の発生が多い状況です。被害果を放置すると健全果へ二次感染します。収穫までしばらく時間があります。被害果は早めに除去してください。

1. 収穫予想：南部地帯 10 月 15 日頃～、北部地帯 10 月 20 日頃～
2. 注意点：シナノゴールドの成熟（収穫期）は地域差が大きい傾向です。日持ち性を考慮して、酸味と甘みのバランスがある状態でまとめて収穫を行ってください。

次頁もお読みください。

参考：ふじ対象の着色資材使用例

- 対象：ふじ等
- 下記資材は全て定期散布に混用可能です。選択により使用してください。

商品名	使用目的	倍率	使用時期	500 ^{リットル} 当り 薬剤費	定期散布 農薬 混用
彩色甘味 (おすすめ！) @2,640 円/500g	着色促進 糖度向上	1,000	9 月上旬・9 月下旬・10 月上旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	2,640 円	可
モーニング エース @4,320 円/500ml	着色促進 品質向上	500	9 月上旬・9 月下旬・10 月上旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	8,640 円	可
ビビットレッド @1,385 円/1.2 kg	着色促進 品質向上	500	9 月上旬・9 月下旬・10 月上旬 (収穫予定 30 日前と 15 日前の 2 回連続散布が効果的)	1,154 円	可
葉友 @72,749 円/20 ^{リットル}	着色促進 花芽充実 品質向上	2,000	9 月上旬・9 月下旬・10 月上旬 (収穫予定 2 カ月前から 3 回連続散布が効果的)	909 円	可
メリット赤 @19,511 円/20 kg	着色促進 樹勢調節	300	9 月上旬・下旬・10 月上旬 (収穫予定 2 カ月前から 3 回連続散布が効果的)	1,624 円	可

◆ 使用例

- ① 彩色甘味：10 月上旬の薬剤散布に混用 ⇒ ふじ等対象 ＊おすすめ！
- ② モーニングエース：10 月上旬・中旬（シルバー敷き前）に 500 倍で 2 回連続散布 ⇒ ふじ対象
- ③ ビビットレッド：10 月上旬の薬剤散布に混用 ⇒ ふじ等対象
- ④ メリット赤：10 月上旬・10 月中旬（シルバー敷き前）に 300 倍で 2 回連続散布 ⇒ ふじ対象
- ⑤ 葉友：10 月上旬の薬剤散布に混用 ⇒ 次年度花芽充実（全品種）

～ お知らせ ～
 現在、りんご・もも部会を通じて生産拡大品種苗木の注文と取りまとめています。この機会に苗木導入を進めて頂き、生産基盤の若返りを図ってください。品種特性等の詳細は注文書裏面等をご覧ください。